

いわき湯本病院

高根澤 絵里 (臨床検査技師)

- 功 績** 日本臨床衛生検査技師会が毎1回行う日臨技臨床検査精度管理調査において、6年の長期にわたり高精度認定の施設環境を維持することができ、日常診療の信頼度維持に大変貢献することとなった功績。
- 推 薦 者** 小峠 恒男 臨床検査科科長
- 推 薦 理 由** 被推薦者高根澤が、少人数、小規模検査科にあつて、生化学検査、免疫血清検査などのほか、生理検査など多様多数の検査の毎日の中で、試薬管理、機器管理、データ管理を担当し、地道に整備を続けていることが、外部機関の精度評価で全項目A評価が100%4回、99%2回という継続的な高精度成績を得られた最大の要因と考えられ、日々の臨床の信頼獲得に大変寄与する結果となった。是非とも理事長賞に推薦し今後の一層の活躍を支援したい。

内 容

臨床検査データの精度が高いことは、日常の診療の最重要の課題で診療の命である。しかしながら、100項目をこえる各種検査成績を常に高精度に維持し続けるためには、大変な緊張と日頃の整備が要求される。最近では、分析機器の進歩により多数の患者サンプルを確実に処理することも可能になってはいるが、機器が複雑高度になった一方、常に安定した高精度データを得るためには試薬管理、機器管理、データ管理に継続的努力が必要である。これらの質の維持を図るため、日本臨床衛生検査技師会では毎年1回、病院規模を問わず、標準的な臨床化学検査、血液一般検査、免疫血清検査等を指標に、検査項目ごとに各施設の精度調査を行い、その結果を段階評価して発表している(日臨技臨床管理精度調査)。例年、全国の病院、臨床検査会社などおよそ3000施設が参加し評価を受けているが、当院対象の全85項目全てにA評価を受けることはなかなか困難で、A評価獲得率は大半の施設が88~99%と報告されている。したがって、A評価100%の高獲得率を長年維持続けることは一層困難である。当院も従来から調査に参加していたが、残念ながら項目によってはB評価のみならずC、D評価も受ける状況にあった。健闘の結果2010年高見澤を中心に全項目A評価獲得を目標に、試薬管理、機器管理、データ管理の工夫に積極的な取り組みを開始した。2年後2012年に初めて全項目A評価を獲得した。以来6年になるが、2回は残念ながら99%であったが、今年度も全項目にA評価を獲得。通算4回目になり、最近6年の間99%以上獲得の高精度施設ということとなった。継続的に高い精度を続けることができる環境が維持されていることになり、高根澤の日頃の地道な管理・整備が実り、当院の診療の質と信頼の獲得に大変貢献していることとなった。